

# 高等学校国語総合漢文分野において 自分の考えをまとめ、表現する力を育てる指導の工夫

—音読・口語訳段階及び読解段階における「学び合い」活動を通して—

国語班 角田 繭子(高等学校教諭)

## 主題設定の理由

『新学習指導要領総則』／『平成24年度県立学校教育指導の重点』

- 「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」の育成が求められている。
- 「言語に関する能力の育成」のために「言語活動の充実」を図ることの重要性が指摘されている。

協力校生徒の実態

- 漢文への苦手意識をもち、学習態度が消極的な生徒が多い。
- じっくり考え、分析し、まとめるなどの、思考力を問う学習活動を苦手と感じている生徒が多い。

漢文を自ら読解しながら、自分の考えをまとめ、表現する力を育成したい!



## 研究構想図

目指す生徒像 **自分の考えをまとめ、表現できる生徒**

◎自分の考えをまとめ、表現できる生徒とは…  
文章内容についてじっくり考え、自分の意見をまとめ、それを他者に伝えることができる生徒

③読解段階の「学び合い」 **自分で考え、表現する**

登場人物の性格や行動の理由についてワークシートにまとめ、班で意見交換する。

②口語訳段階の「学び合い」 **内容を正確に理解する**

各自がワークシートを活用して行った口語訳を3~4人の班で確認し合い完成させる。

①音読段階の「学び合い」 **全文を正しく音読する**

課題と方法をワークシートで明示し、3~4人の班で音読練習する。

～検証方法～  
【①～③共通】  
◆活動の観察(全体・抽出生徒)  
◆ワークシートの確認  
◆生徒の自己評価  
【②のみ】  
◆ノート・課題集の確認

生徒の実態

- ・漢文への苦手意識が強い
- ・読みにくく、内容をつかみにくい
- ・漢文学習の必要性を感じていない

隔たり

- ・漢文に親しんでほしい
- ・自ら学習に取り組んでほしい
- ・じっくり考え、表現してほしい

教師の願い



## 実践と結果

教材: 史話『刎頸之交』 実施学年: 1年

活動	結果(生徒の活動の様子)	結果(生徒アンケート・ワークシートより)
③読解段階の「学び合い」	登場人物の行動の理由や性格について、9割以上の生徒がまとめることができた。班での意見交換が活発に行われ、人物像について様々な意見が出た。	<ワークシートの記述> 【廉 頗】好戦的だが、自分に非があると素直に認める誠実な人柄／口先だけでなく、体で態度を示した。 【藺相如】個人的な気持ちをおさえて国のために力をつくそうとしている。／秦のおどしをはねのけた勇気と廉頗の力も認める心の広さを持っている。
②口語訳段階の「学び合い」	作業の速い生徒が他に助言したり、口語訳を確認し合ったりするなど熱心に取り組んだ。全体の確認では、複数の生徒が挙手して口語訳を発表した。	<生徒の感想> 少しずつ理解でき、おもしろい話だなと思えた。／皆と話し合うことで内容がわかった。 <生徒の自己評価> 「できた」「大体できた」と答えた生徒が、口語訳ではやや少なかったが、内容の理解については9割以上だった。
①音読段階の「学び合い」	最初は正確に音読できた生徒が半数程度だったが、練習を毎時間行った結果、8割の生徒がふりがな無しで読めるようになった。	<生徒の感想> 最初はふりがな無しで読めないと思っていたけど、最後の授業では読めるようになった。／音読は難しかったけど、グループで活動できる時間が多かったのがよかった。

本文を根拠に自分の考えを書けた生徒が **93%**

8割程度以上の訳を書けた生徒が **75%**

「できた」「大体できた」と自己評価した生徒が **80%**

## 成果と課題

### 成 果

- 学び合い活動を通して、生徒は音読や口語訳に意欲的に取り組み、自分の考えをまとめて表現することができた。
- 目標を明確にした授業展開と各時間の達成状況に関する生徒の自己評価を取り入れたことにより、ゴールを意識した生徒の取組が促され、漢文に対する苦手意識の軽減が認められた。

### 課 題

- ◇ 授業内容・発問などの精選、副教材やワークシートの活用方法等について一層の検討を加える必要がある。
- ◇ 音読段階では、予定した時間内で十分な成果が得られなかった。生徒の実態を十分に把握した上での目標設定と、生徒に提示する練習方法例の内容を充実させる必要がある。